

LanScope Cat6

技術情報 Vol.07

～ログ保存日数の仕様～

2009年9月28日

第6版

エムオーテックス株式会社

SQL Server

SQL Serverをご利用の場合は、P4～P7までをご確認ください。

【統合マネージャ（標準+Web監視+サーバ監視機能+不正PC検知機能+アプリケーションID監査機能）】

統合マネージャ	データベース名	テーブル名	保存日数	
資産アラームログ	LSPMMS_ALM	ALMLOG	62日間	
プリントアラームログ	LSPMMS_PRN	RRNLOG	62日間	
プリントログ	LSPMMS_PRN	RRNLOG	62日間	
アプリケーションタスクログ	LSPMMS_AP0X	APTSK	62日間	
アプリケーションタスク集計	LSPMMS_AP0X01~12	APSTSK	13ヶ月間	
アプリケーションリアルタイムモニタ	LSPMMS_AP0X	RAPTSK	7日間	
アプリケーションタスク集計	LSPMMS_AP0X01~12	APSTSK	13ヶ月間	
アプリケーション監査ログ	LSPMMS_AP0X01~12	ITCLOG	2~370日間	※
アプリケーション禁止ログ	LSPMMS_APALM	FORBIDAPLOG	62日間	
新規アプリケーション起動アラームログ	LSPMMS_NEWAPLOG	NEWAPLOG	62日間	
接続ログ(不正PC検知機能)	LSPMMS_DTC0X	DTCLOG	2~90日間	※
リアルタイムイベントログ/ファイル操作ログ	LSPMMS_EVMR0X	EVENTMR	2~90日間	※
リアルタイムイベントモニタ/ファイル操作ログ	LSPMMS_EVMR0X	RTEVENTMR	2日間	
Webアクセスログ	LSPMMS_WEB0X	WALOG	2~90日間	※
Webアクセスモニタ	LSPMMS_WEB0X	RTWALOG	2日間	
サーバアクセスログ	LSPMMS_SVR0X	SECEVLOG	2~90日間	※

※ アプリケーション監査ログ、接続ログ、リアルタイムイベントログ/ファイル操作ログ、Webアクセスログ、サーバアクセスログは、統合コンソールの環境設定で設定した保存日数となります。

【統合マネージャ（Webコンソール機能）】

統合マネージャ	データベース名	テーブル名	保存日数	
資産アラームログ	LSPMMS_RALMLOG	RALMLOG	62日間	
プリントアラームログ	LSPMMS_RPRNALMLOG	RPRNALMLOG	62日間	
アプリケーション禁止ログ	LSPMMS_RAPALM	RFORBIDAPLOG	62日間	
ファイル操作アラームログ	LPSMMS_EVMR0X	EVENTMR	2～90日間	※
新規アプリケーション起動ログ	LSPMMS_RNEWAPLOG	RNEWAPLOG	62日間	
Webアクセスアラームログ	LPSMMS_RWEB	RWWALMLOG	62日間	
アップロードアラームログ	LPSMMS_RWEB	RWAFALMLOG	62日間	
サーバアクセスアラームログ	LSPMMS_RSVR	RSECVLOG	62日間	
ウィンドウタイトルアラームログ	LSPMMS_EVMR0X	EVENTMR	2～90日間	※
リアルタイム接続アラームログ(不正PC検知)	LSPMMS_RDTC	RDTCLLOG	62日間	
検知エージェントON/OFFログ	LSPMMS_RDTC	RDAGTWORKLOG	62日間	
アプリケーション監査アラームログ	LSPMMS_RITC	RITCLLOG	2～370日間	※

※ ウィンドウタイトルアラームログ、ファイル操作アラームログ、アプリケーション監査アラームログは、統合コンソールの環境設定で設定した保存日数となります。

【統合マネージャ（長期レポート機能）】

統合マネージャ	データベース名	テーブル名	保存日数	
管理用データベース	LSPMMS_LMAIN	各テーブル	2～1827日間	※
集計用データベース	LSPMMS_LSUMxxxxx	各テーブル	2～1827日間	※
ログ保存用データベース	LSPMMS_LLOGxxxxxxxxx	各テーブル	2～1827日間	※

※ 統合コンソールの長期レポート保存設定で設定した保存日数となります。

【LanScope Cat6 ログの保存期間(サブマネージャ部分)】

【資産管理サブマネージャ】

資産管理サブマネージャ	データベース名	テーブル名	保存日数
資産アラームログ	LSPMMS_IMAIN	IALMLOG	31日間
プリントアラームログ	LSPMMS_IMAIN	IPRNALMLOG	31日間
プリントログ	LSPMMS_IMAIN	IPRNLOG	31日間

【タスクイベントサブマネージャ】

タスクイベントサブマネージャ	データベース名	テーブル名	保存日数
アプリケーションタスクログ	LSPMMS_TLOG00000000	TAPTSK	31日間
アプリケーションタスク集計	LSPMMS_TMAIN	TAPSTSK	31日間
新規アプリケーション起動アラームログ	LSPMMS_TMAIN	TNEWAPLOG	31日間
アプリケーション禁止ログ	LSPMMS_TMAIN	TFORBIDAPLOG	31日間
アプリケーション監査ログ	LSPMMS_CLOG00000000	CITCLOG	2~90日間

※

※

※アプリケーション監査ログは統合コンソールの環境設定で設定した保存日数(デフォルト値は2日)となります。また、環境設定で90日以上を設定している場合でもサブマネージャで保存されるアプリケーション監査ログは、90日までです。

ログが保存されるデータベース「LSPMMS_TLOG」「LSPMMS_CLOG」は1日ごとに当日分と翌日分が作成されます。

例えば、2008年4月1日には「LSPMMS_CLOG20080401」「LSPMMS_CLOG20080402」が作成され、発生したログは「LSPMMS_CLOG20080401」に保存されます。

【LanScope Cat6 ログの保存期間(サブマネージャ部分)】

【リアルタイムイベントサブマネージャ】

リアルタイムイベントサブマネージャ	データベース名	テーブル名	保存日数
リアルタイムイベントログ/ファイル操作ログ	LSPMMS_RLOG00000000	REVENTMR	2～90日間

 ※

【Webアクセスサブマネージャ】

Webアクセスサブマネージャ	データベース名	テーブル名	保存日数
Webアクセスログ	LSPMMS_WLOG00000000	WWALOG	2～90日間
アップロードログ	LSPMMS_WLOG00000000	WWAFLOG	2～90日間

 ※

【サーバサブマネージャ】

サーバサブマネージャ	データベース名	テーブル名	保存日数
サーバアクセスログ	LSPMMS_SLOG00000000	SSECEVLOG	2～90日間

 ※

【不正PC検知サブマネージャ】

不正PC検知サブマネージャ	データベース名	テーブル名	保存日数
接続ログ	LSPMMS_DLOG00000000	DDTCLOG	2～90日間

 ※

※ リアルタイムイベントログ、Webアクセスログ、サーバアクセスログ、接続ログは統合コンソールの環境設定で設定した保存日数(デフォルト値は2日)となります。ログが保存されるデータベース「LSPMMS_RLOG」「LSPMMS_WLOG」「LSPMMS_SLOG」「LSPMMS_DLOG」は1日ごとに当日分と翌日分が作成されます。例えば、2008年4月1日には「LSPMMS_TLOG20080401」「LSPMMS_TLOG20080402」が作成され、発生したログは「LSPMMS_TLOG20080401」に保存されます。

Oracle Database

Oracle Databaseをご利用の場合は、P9～P12までをご確認ください。

【統合マネージャ（標準+Web監視+サーバ監視機能+不正PC検知機能+アプリケーションID監査機能）】

統合マネージャ	スキーマ名	テーブル名	保存日数	
資産アラームログ	LSPEP	ALMLOG	62日間	
プリントアラームログ	LSPEP	RRNLOG	62日間	
プリントログ	LSPEP	RRNLOG	62日間	
アプリケーションタスクログ	LSPEP	APTSK	62日間	
アプリケーションタスク集計	LSPEP	APSTSK	13ヶ月間	
アプリケーションリアルタイムモニタ	LSPEP	RAPTSK	7日間	
アプリケーションタスク集計	LSPEP	APSTSK	13ヶ月間	
アプリケーション監査ログ	LSPEP	ITCLOG	2~370日間	※
アプリケーション禁止ログ	LSPEP	FORBIDAPLOG	62日間	
新規アプリケーション起動アラームログ	LSPEP	NEWAPLOG	62日間	
接続ログ(不正PC検知機能)	LSPEP	DTCLOG	2~90日間	※
リアルタイムイベントログ/ファイル操作ログ	LSPEP	EVENTMR	2~90日間	※
リアルタイムイベントモニタ/ファイル操作ログ	LSPEP	RTEVENTMR	2日間	
Webアクセスログ	LSPEP	WALOG	2~90日間	※
Webアクセスモニタ	LSPEP	RTWALOG	2日間	
サーバアクセスログ	LSPEP	SECEVLOG	2~90日間	※

※ アプリケーション監査ログ、接続ログ、リアルタイムイベントログ/ファイル操作ログ、Webアクセスログ、サーバアクセスログは、統合コンソールの環境設定で設定した保存日数となります。

【統合マネージャ（Webコンソール機能）】

統合マネージャ	スキーマ名	テーブル名	保存日数	
資産アラームログ	LSPEP	RALMLOG	62日間	
プリントアラームログ	LSPEP	RPRNALMLOG	62日間	
アプリケーション禁止ログ	LSPEP	RFORBIDAPLOG	62日間	
ファイル操作アラームログ	LSPEP	EVENTMR	2～90日間	※
新規アプリケーション起動ログ	LSPEP	RNEWAPLOG	62日間	
Webアクセスアラームログ	LSPEP	RWWALMLOG	62日間	
アップロードアラームログ	LSPEP	RWAFALMLOG	62日間	
サーバアクセスアラームログ	LSPEP	RSECVLOG	62日間	
ウィンドウタイトルアラームログ	LSPEP	EVENTMR	2～90日間	※
リアルタイム接続アラームログ(不正PC検知)	LSPEP	RDTCLLOG	62日間	
検知エージェントON/OFFログ	LSPEP	RDAGTWORKLOG	62日間	
アプリケーション監査アラームログ	LSPEP	RITCLLOG	2～370日間	※

※ ウィンドウタイトルアラームログ、ファイル操作アラームログ、アプリケーション監査アラームログは、統合コンソールの環境設定で設定した保存日数となります。

【統合マネージャ（長期レポート機能）】

統合マネージャ	スキーマ名	テーブル名	保存日数	
管理用データベース	LSPLTM	各テーブル	2～1827日間	※
集計用データベース	LSPLTM	各テーブル	2～1827日間	※
ログ保存用データベース	LSPLTM	各テーブル	2～1827日間	※

※ 統合コンソールの長期レポート保存設定で設定した保存日数となります。

【LanScope Cat6 ログの保存期間(サブマネージャ部分)】

【資産管理サブマネージャ】

資産管理サブマネージャ	スキーマ名	テーブル名	保存日数
資産アラームログ	LSPINV	IALMLOG	31日間
プリントアラームログ	LSPINV	IPRNALMLOG	31日間
プリントログ	LSPINV	IPRNLOG	31日間

【タスクイベントサブマネージャ】

タスクイベントサブマネージャ	スキーマ名	テーブル名	保存日数
アプリケーションタスクログ	LSPTSK	TAPTSK00000000	31日間
アプリケーションタスク集計	LSPTSK	TAPSTSK	31日間
新規アプリケーション起動アラームログ	LSPTSK	TNEWAPLOG	31日間
アプリケーション禁止ログ	LSPTSK	TFORBIDAPLOG	31日間
アプリケーション監査ログ	LSPTSK	CITCLOG00000000	2~90日間

※

※

※アプリケーション監査ログは統合コンソールの環境設定で設定した保存日数(デフォルト値は2日)となります。また、環境設定で90日以上を設定している場合でもサブマネージャで保存されるアプリケーション監査ログは、90日までです。
 ログが保存されるテーブル「TAPTSK」「CITCLOG」は1日ごとに当日分と翌日分が作成されます。
 例えば、2008年4月1日には「TAPTSK20080401」「TAPTSK20080402」が作成され、発生したログは「TAPTSK20080401」に保存されます。

【LanScope Cat6 ログの保存期間(サブマネージャ部分)】

【リアルタイムイベントサブマネージャ】

リアルタイムイベントサブマネージャ	スキーマ名	テーブル名	保存日数
リアルタイムイベントログ/ファイル操作ログ	LSPREV	REVENTMR00000000	2～90日間

※

【Webアクセスサブマネージャ】

Webアクセスサブマネージャ	スキーマ名	テーブル名	保存日数
Webアクセスログ	LSPWAC	WWALOG00000000	2～90日間
アップロードログ	LSPWAC	WWAFLOG00000000	2～90日間

※

※

【サーバサブマネージャ】

サーバサブマネージャ	スキーマ名	テーブル名	保存日数
サーバアクセスログ	LSPSVR	SSECEVLOG00000000	2～90日間

※

【不正PC検知サブマネージャ】

不正PC検知サブマネージャ	スキーマ名	テーブル名	保存日数
接続ログ	LSPDTC	DDTCLOG00000000	2～90日間

※

※ リアルタイムイベントログ、Webアクセスログ、サーバアクセスログ、接続ログは統合コンソールの環境設定で設定した保存日数(デフォルト値は2日)となります。ログが保存されるデーぶる「REVENTMR」「WWALOG」「WWAFLOG」「SSECELOG」「DDTCLOG」は1日ごとに当日分と翌日分が作成されます。例えば、2008年4月1日には「REVENTMR20080401」「REVENTMR20080402」が作成され、発生したログは「REVENTMR20080401」に保存されます。